

みんなたいせつ

「ひとりじゃないよ」

かんじがわからないの。このかんじ、なんてよむのかなあ。

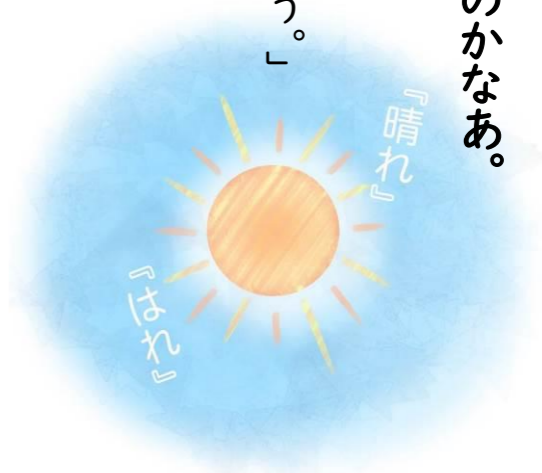
「それはね、『はれ』ってよむかんじだね。

きょうのおてんきみたいだね。

お日さまが　　てって、青いそら。ね、『晴れ』でしょう。」

ほんとだね。そうか。「はれ」ってよむんだね。

かんじっておもしろいね。



みずたまりでぬれちゃった。きがえもってないの。どうしよう。

「たいそうふくにきがえたらいいよ。」

「ぼくはまえにふくがよごれたとき、

ほけんのせんせいにかりたことがあるよ。」

そうか。おしえてくれてありがとう。

あしをけがしちゃったの。いたいよう。

「ほけんのせんせいのところまでいっしょにいこう。」

「てをつなごう。けんけんできる?」

「ぼく、ばんそうこうもってるよ。ほらもう、けが、みえないよ。」

いたいけど、ともだちがいてくれたらちよっといたいのがきえたみたい。

お花のみずをかえたかったのに、かびんをわっちゃったよ、どうしよう。

「けがはない?ぬれてない?だいじょうぶ?」

「いっしょにかたづけよう。」

「せんせいにいっしょにいいにいこう。」

どうしたらいいかわかったよ。ありがとう。



そうか、わたしには

たすけてくれるひとがいっぱいいるね。

ひとりでなやまないで。

みんなあなたのえがおが

みたいのです。

おもったことをかきましよう。

あなたがおはなししたいとおもったひとをかきましよう

